

## 土佐清水市地域公共交通協議会 第2回総会 会議録（要約）

日 時：平成22年7月12日（火）

午前 10：30～11：05

場 所：土佐清水市役所 3階 市議会会議室

出席者：土佐清水市長、あしずりハイヤー代表取締役社長代理 西川正三、（有）足摺交通ハイヤー代表取締役社長 田村有三、竜串見残観光ハイヤー（有）代表取締役 西村公一、西南交通（株）代表取締役社長 小松邦彦、高知県幡多土木事務所土佐清水事務所 所長 近澤俊明、土佐清水市まちづくり対策課長 木下司、国土交通省四国運輸局高知運輸支局首席運輸企画専門官 佐伯辰美、国土交通省四国運輸局高知運輸支局 樋口明宏、高知県公共交通課長 樋口毅彦、高知県幡多土木事務所土佐清水事務所工務課長 笹岡吉市、土佐清水商工会議所 会頭代理 藤井敏郎、土佐清水市企画広報室長 脇谷浩正、土佐清水市観光商工課長 山下毅、土佐清水市福祉事務所長 二宮真弓、土佐清水市学校教育課長代理 中津健一

事務局：企画広報室長補佐 岡田敦浩、企画係長 金子久恵

- 会議次第：
1. 開会
  2. 市長（会長）挨拶
  3. 議題
    - （1）平成22年度事業実施状況について
    - （2）平成22年度事業の変更について
    - （3）100円刻み運賃の導入について
    - （4）平成21年度国庫補助金の返還について
    - （5）その他
  4. 閉会

---

### 会議概要（要約）

---

#### 1. 開会

（省略）

#### 2. 市長（会長）あいさつ

（省略）

#### 3. 議題

（事務局）

資料P2～3 説明

##### （1）平成22年度事業実施状況について

###### ①総会・幹事会開催状況

###### ②通勤通学帰宅便バス実証運行（国庫補助事業）

本年度も引き続き継続中。6/22までの資料を記載している。

昨年度と比較して、1日あたりの利用者数 0.65 人から 1.05 人にあがっておりますが、昨年度10月、11月周知が遅れ、利用者が非常に少なかった。

12月以降は、だいたい本年度と同様20人の月平均の利用状況となっている。

③タクシー割引助成事業（補助対象外事業：市単独事業）

昨年度同事業といたしまして、ジャンボタクシーを利用したフィーダー輸送を実施していた事業に切り替わる分として実施している。

④高齢者運転免許返納支援事業（補助対象外事業：市単独事業）

平成17年度より土佐清水市高齢者交通安全推進協議会が免許を返納された高齢者に、返納時に2000円分の商品券の交付とか、西南交通さんの協力で免許返納サポート定期やハイヤー運賃の10%割引、サポート店の商品の10%割引というような制度を実施している。今年度よりこれに上乗せをして市でタクシーの利用券4800円分、免許返納サポート店での商品券3600円分、計8400円分を上乗せする事業を実施している。

事業者は、タクシー5事業者、返納サポート店（中央商店街15店舗、この6月から理容所23店舗）加入してくれ、38店舗となっている。

H17年度以降の返納者は累計で焼く200名という情報を警察署からいただいているが、名簿等の提供をしてもらえないので、生存しているかどうかの把握は充分できていない。広報等で呼びかけをして、現在登録者数が33名となっている。33名に対し1人8400円分、277,200円分のチケット交付している。

利用状況は、タクシーが延べで94名51500円、サポート店で19名28500円、トータルで113名80000円となっております。

⑤市役所職員によるノーカーデーの実施について

市役所の職員が率先して、バスの利用を進めていこうと意気込みで平成22年4月から毎月20日をノーカーデーとして通勤にバスを利用する取組みを実施している。

利用人数は、4月が16名、5月が22名、6月が16名、全体までには至っておりませんが、こういうような状況でまた7月もまもなく20日がまいりますので、職員に呼びかけてこれからも進めていきたいというふうに考えております。

以上です。

（市長）

何か、ご意見ご質問ございませんでしょうか。

（委員）

なし

（市長）

特にございませんか。ないようでしたら次にうつりまして、P4、平成22年度事業の変更について、ご提案をさせていただきます。

（事務局）

引き続き、説明をさせていただきます。資料P4の説明。

平成22年度事業変更について、変更を提案をする部分は、域内観光周遊バス実証運行として4,992,000円の予算を組んでいたが、前回の総会終了後に情報が入り、幡多広域観光協議会が7/2から9/30の間中村駅発の同様の事業を展開するため、昨年度実施実績からしても利用者の増加は見込めず中止をしたいということです。

これについては、申し訳なく恥ずかしい話ですが、内部での情報が共有できていなかったという部分に起因しております。

幡多広域観光協議会が実施する事業が国庫2/3補助で、本省でも同じ地域で同様の事業が

重複で展開となるのはどうかと論議されていたようです。

そういうこともあり、費用対効果の部分からもこの際中止をしたいということで提案をさせていただきます。

その他の分については、実施を予定しておりますが2点目の通勤通学帰宅便ですが、今年度に入ってからの状況もあまりかんばしい結果はでておりません。

この点についても利用状況等の推移をみながら、最後までやるのか途中事業を中止するのか、というふうなことを協議いただきたいと思います。

下の市単事業については、特段ありません。以上です。

(市長)

本日のポイントであります。ご提案のあった点について(資料)上段下段含めて何かご意見なりご質問なりお願いしたいと思います。

特にご意見ご質問ございませんか。

上の段については、情報の交換が不十分だったということで、反省すべきところがある。だぶるところがあるのでやむをえないかなというところはある。

後段の通勤通学帰宅便については、一定やるという方向のようですので、何か意見があるかと思いますが、どうでしょうか。特にご意見ございませんか。

実証ですので、私も事務局と話をしたのですが、一応暮れの時期になると忘年会などそういうチャンスもあろうかと思いますが、一応暮れまでやってみてはどうだろうかねと私個人的な意見を言ってみたのですが、皆さんプロの方もいらっしゃいますので、どうふうに分析されますか。

特に、ご意見ございませんか。

ないようでしたら、当面12月までこれを目処にやってみるということでよろしいでしょうか。

(脇谷室長)

9月末で一応去年の10月1日から実施しているので、1年にはなるということはありませんが、西南交通の区切りとして果たしてどうなのでしょうかと、私どもの思いとして問いかけをしたい。

ただ、会長が言われたように、12月は忘年会シーズンも見据えて考えてみてもよいのかなという思いもある。

皆さんの意見として、そこらあたり市長の言ったように12月をもってでもどうでしょうか。長い方がいいでしょうか。

(小松副会長)

せっかくノーカーデーも設定してやってもらってるから、時期とは思いますが、せっかくやっているの、少しでも乗せていくような方向で、12月忘年会シーズンまではやってみてどうかとは思いますが。

今までどおり何もしないままではどうかと思う。せっかくノーカーデーを設定していただいておりますので、時期的なものもあろうかと思いますが、12月末まではと思います。

(市長)

というご意見が出ております。特にご意見がなければ、うちの職場のことばかりで恐縮ですが、一番対象者の多い市でもノーカーデーということでやってみましたので、だんだん

ムードが上がるということを見通しながら当面12月までやるという方向でご了解いただけますか。

(委員)

了承

(市長)

ありがとうございました。

(2)平成22年度の事業変更については、通勤通学帰宅便については、12月末までやってみると、域内観光周遊バスはダブりの点もあるので中止と、下段の市単独事業については予定どおりやるという方向で、全体としてご了解いただいたものとさせていただきます。ありがとうございました。

続きまして(3)P5の100円刻み運賃の導入についてご提案をしていただきます。

(事務局)

先ほどの(2)の事業変更については、運輸局とも変更手続きについては協議をしているところですが、特段実績で実施しなかったという形でも構いませんよというふうな返事をいただいておりますので、運輸局の方には協議会でこのような話になりましたということで話を進めていくようにいたします。

P5(3)100円刻み運賃の導入について説明

廃止路線バス有永～清水線について、本来なら去年の10月の高知西南交通運行路線(布線、足摺線が廃止代替バス路線)で100円刻み運賃を実施しているため、本来ならこの時期に合わせて実施しておかなくてはなりませんでしたが、未実施であるということで、本年の10月のダイヤ改正、運賃改正と目安の時期ですが、それに合わせて遅ればせながら実施をしたいというふうに考えております。

この件につきましては、平成22年の3月26日の最後の総会で了解を得ておりますが、運輸局への手続きの関係から協議が整ったとの書類を提出する必要があるため、また今回改めて皆様の承認をいただきたいと思います。以上です。

(市長)

前回は報告しておりましたが、そういう方向でよろしいでしょうか。

(委員)

了承

(市長)

ありがとうございました。

続きまして(4)平成21年度国庫補助金の返還について

(事務局)

H21年度の国庫補助金の返還ですが、H21年度国庫補助事業として実施しました通勤通学帰宅便実証運行の事業額ですが、実績報告時とバス事業決算時とで若干タイムラグがあり2177円の差額発生している。西南交通さんへ払いすぎていることになっております。高知西南地域公共交通協議会においても同様の状況が発生しており国へ協議しているが、はっきりした回答はまだもらっておりません。

見通しとしては返還となりそうであるので、7月8日に開催された高知西南地域公共交通協議会の幹事会で返還をするということが決定されたので、本協議会も同様の措置をとる

必要がありますので、国の決定を待って高知西南地域公共交通協議会と足並みをそろえ手続きを進めていきたいと考えております。

以上です。

(市長)

ということでございまして、報告事項になりますが、ご了解いただけますでしょうか。

(委員)

了解

(市長)

ありがとうございました。

以上で予定の議題は済んだわけでございますが。

(事務局)

その他、P6について

6月15日付けの高知新聞の記事ですが、前回の総会の時も記者が出席しておりまして、それを踏まえた記事ということでこのような記事がでております。

1人当たり9万円以上かかってますよというようなことです。

下段に企画広報室の意気込みとして室長のコメントが書かれている。

「公共交通空白地域は人口が少ない。費用対効果は上がらないが、だからといって空白地域をつくるわけにはいかない。国は地方の公共交通に対して手厚い支援策を講じるべきだ。」うちの率直な意見でございます。

特にこれということはありませんが、こういう記事が出ておりますので皆さんに周知しておきたいと思っております。以上です。

(市長)

その他、皆さん聞きたいこととかはありませんか。

(二宮委員)

P2の③のタクシー利用者の主な利用の目的は？病院とかわかりませんか。

(西村委員)

ほぼ病院です。

(二宮委員)

家から病院まで直接？

(西村委員)

空白地域ですので、その地域からバスの停留所までバスの時間に併せて運行している。それからバスにのってというパターンです。

(二宮委員)

前のフィーダー輸送と人は一緒ですか。

(西村委員)

一緒です。バスの時間に合わせてということですよ。

(二宮委員)

帰りもバス停から家まで？

(西村委員)

バスに乗る前に連絡があり、バス停まで迎えに行きバス停から地区まで送っていく。

(市長)

いいですか。他にご意見ありませんか？

(近澤委員)

バスでここまでくるのか？着くところはこの下の清水プラザパル前まで？

(西村委員)

タクシーの輸送は、空白地域から最寄りのバス停までなので、そこまでです。

(近澤委員)

パルから病院の方はバス停から歩いていく？

(二宮委員)

市内の病院は、それぞれ病院送迎のバスがバス停からある。

足摺病院はわからないが、バスで行かれているのか。

(市長)

病院のバスがバス停まで送迎をしている。待機している。至れり尽くせりですね。

患者さんが固定しているところもあるが、病院としても誘導したい部分もあるでしょうし。

病院ごとに固定されているんじゃないかと想像していますが。

(市長)

他に、ご意見ご質問ございませんか。室長、事務局特にございませんか。

(脇谷室長)

ありません。1ヶ月程度でこういうような変更の総会をもつようになったことについて、お詫び申し上げます。

(市長)

特にないようですので、以上で終了したいと思います。ありがとうございました。